

東福寺 横浜市鶴見区鶴見 1-3-5

本尊は如意輪観世音で、山城国醍醐三寶院の勝覺僧正が、寛治年間(1087～1094)に創建したと言われています。葬頭河婆(そうずがのおばあさん)が参道入り口にあり祠を開けると笑っているお婆がいた。

御本尊の如意輪観音は、子育て観音と言われています。1100年頃、堀河天皇が東福寺の子育観音に皇子の誕生を祈願し、3年後に皇子(鳥羽天皇)が誕生しましたので、堀河天皇より「子生山 東福寺」の宸筆を賜りました。江戸時代には参詣者も多く賑わい、門前には子育まんじゅうのお店があったとのこと(今はありません)(新編武蔵風土記稿より)。



祈れば目、鼻、耳、口の病に効力があるという(天文元年 1763年)



仁王門と仁王像(金剛力士像も立派で迫力があつた)

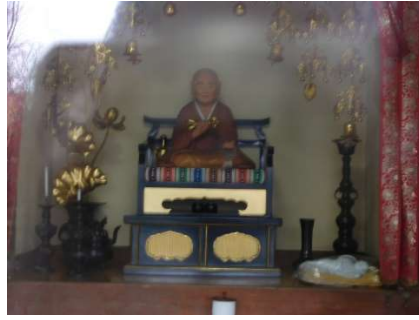


本堂

扁額



弘法大師像



太子堂の内部